

船舶事故等調査報告書

平成23年10月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第110号	
事故等種類	火災	
発生日時	平成23年7月8日 07時30分ごろ	
発生場所	千葉県千葉港葛南区船橋中央ふ頭H岸壁 千葉港葛南市川灯台から真方位076° 2.2海里付近 (概位 北緯35° 40.6′ 東経139° 58.6′)	
事故等調査の経過	平成23年7月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 ^{ヒポール} HIBOR（カンボジア王国籍）、1,374トン 8508656（IMO番号）、LEVEL INTERNATIONAL GROUP LIMITED DALIAN XINGSHENG SHIPPING AGENCY CO.,LTD（船舶管理者、中華人民共和国）	
乗組員等に関する情報	船長、中華人民共和国籍、締約国資格受有者承認証 船長（カンボジア王国発給）	
死傷者等	なし	
損傷	船倉内右舷前部に焦げ跡	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか8人が乗り組み、平成23年7月8日06時15分ごろ千葉港葛南区船橋中央ふ頭H岸壁に右舷着けし、07時05分ごろスクラップの積荷作業を開始した。</p> <p>積荷は、油圧ショベルを使用し、陸上のトラックの荷台からスクラップをつかんで船倉に落として行われた。</p> <p>乗組員は、荷役当直を行っていたところ、07時30分ごろ、船倉内右舷前部のスクラップから煙が出ているのを発見した。</p> <p>本船は、防火部署を発令し、2本のホースを用意して07時40分ごろ海水の放水を開始した。</p> <p>船橋中央ふ頭警備員は、煙に気付き、07時56分ごろ消防署に通報した。</p> <p>本船は、08時10分ごろ消防車、巡視艇が出動して消火活動が開始され、09時20分ごろ鎮火した。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南西、風力 2、視界 良好、気温 約27℃ 海象：波 なし	
その他の事項	<p>船倉は、長さ約40m、幅約9.2m、深さ約5mであり、船倉ハッチは長さ約37m、幅約9.0mであった。</p> <p>スクラップは、家電、OA機器等を破碎処理したものであり、金属、プラスチック、電線、小型電動モーター、ゴム類、プリント基盤等であった。</p>	
分析	乗組員等の関与	なし
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、千葉港において、スクラップの積荷作

	<p>業中、積み込まれていたスクラップの素材や性状は雑多であり、発火し易い物質（以下「発火物」という。）が混入していた可能性があると考えられる。</p> <p>本船は、スクラップを船倉内右舷前部に積み込んでいたとき、発火物が自然発火したことから、周囲のスクラップに延焼して火災になった可能性があると考えられるが、発火物を特定することはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、千葉港において、スクラップの積荷作業中、混入していた発火物が自然発火したため、周囲のスクラップに延焼して火災になったことにより発生した可能性があると考えられる。</p>